

第 2 学 年 ○○○○ 学 習 指 導 案

1 単元名 「ぐんぐんそだて」 ～やさいはっぴょう会をしよう～

2 指導観

このような子どもたちだから

- 子どもたちはこれまでに、一人一鉢のミニトマト栽培と、学級園での夏野菜（ナス、ピーマン、キュウリ、トマト）栽培、学校園でのサツマイモ栽培を、苗から行ってきた。その中で、植物の生長の変化に関心をもち、水やりや肥料などの簡単な世話を楽しんでするようになってきた。また、生長して食べ頃になった野菜を収穫し、家に持ち帰って食べてみることを楽しみにしていた。2学期には、家族だけでなくみんなと一緒に収穫した野菜を食べるための「やさいパーティーを開こう」を合い言葉に秋まき野菜の栽培に挑戦してきた。秋まき野菜（チンゲンサイ、ホウレンソウ、ハツカダイコン、レタス、ミズナ、ダイコン、カブ）の中から、自分が育てたい野菜を2種類決め、種物屋に種を買いに行った。また校区の野菜づくり名人をGTに迎え、土づくりから種まきの仕方・育て方を教わりながら一人二鉢の野菜と学級園（秋まき野菜と1学期から継続栽培の秋ナス）の野菜をつくり、観察を通して野菜の生長の様子を学んできた。そして収穫したたくさんの野菜で、待望のやさいパーティーを開き、野菜づくりの達成感を味わっている。
- 夏野菜や秋まき野菜の生長の様子をくわしく観察し、植物によって種や葉や花の形の違い、花の咲いた後に実のつくことなどに気付き、葉の形、花の形や色、茎やつるの様子などを絵や文ではっ見カードに表すことができた。また、グループでの表現や多様な表現方法に意欲を示す子どもも見られるようになってきている。
- 秋まき野菜は土づくりから体験し、毎日水やりをしたり肥料を入れたりして自分の責任で育ててきた。また、自分がしてきた夏野菜と秋まき野菜の世話の仕方を通して、生長に合わせた適切な世話があることに気付くことができた。さらに、植物の生長のすばらしさや世話をやりとげた自分のがんばりを感じ始めた子どもも見られるようになってきた。

このような学習で

本単元は、自分たちのがんばりに気付き、自分たちの育てた野菜のことを1年生に伝えるために、今までの栽培活動を振り返り、野菜の生長の様子や変化を比べたり、関係づけたりしながら多様な表現活動を行う学習である。また、お世話になった人たちへ感謝の気持ちをもったり、表現する喜びを味わったりする学習でもある。

本単元を通して次のような学習が期待できる。

- 「やさいパーティー」を開くことができた喜びを生かして「やさいはっぴょう会」を設定し、野菜づくりを通して学んだことを1年生に伝えようとするができるようになる。
- 自分たちが育てた野菜の世話の仕方、生長の様子、野菜を育てる楽しさ、収穫の喜びなどを振り返り、表現することができるようになる。
- 野菜の生長の様子や特徴、世話の仕方を振り返ったり、収穫の喜びを味わい直したりして、野菜や野菜づくり名人及び育て上げた自分に対する気付きを深めることができる。

このような指導を

- 「やさいはっぴょう会」を通して、1年生に野菜の世話の仕方や気付いたことを伝えようとするようにするために、
 - ・ 「やさいパーティー」を振り返り、収穫の喜びを想起することで、野菜の世話の仕方や気付いたことを1年生に伝えたいという気持ちを高めさせ、「やさいはっぴょう会」への意欲をもつことができるようにする。
 - ・ 1年生が分かりやすく、楽しくなるような会場づくりをしていくことで、「やさいはっぴょう会」への気持ちを高め、1年生に伝えたいという意欲を高めることができるようにする。
 - ・ 野菜づくり名人をGTとして招待し、今植えている野菜の今後の世話の仕方や、春に収穫できる野菜の話聞かせることで、次の活動への意欲を高めることができるようにする。

- 自分たちが育てた野菜の世話の仕方、生長の様子、野菜を育てる楽しさ、収穫の喜びなどを振り返り、表現することができるようにするために、
 - ・ 写真の掲示やはっ見カードに書いている絵や文を紹介することで、1学期から取り組んできた野菜づくりを振り返らせ、自分が一番伝えたいことを見つけることができるようにする。
 - ・ 多様な表現方法を提示することで、子どもたちが、自分が伝えたい内容にあった表現方法を選べるようにし、自分の表現方法を決定できるようにする。
 - ・ 発表する野菜の種類や表現したい方法を考慮したグルーピングをすることで、野菜の種類別グループをつくり、活動を円滑に行うことができるようにする。
 - ・ グループで「分かりやすい」「楽しい」の観点で話し合いを行うことで、どの表現方法が自分たちのグループの内容を伝えるのに適しているのかを考えさせ、表現方法を決定できるようにする。
 - ・ 「分かりやすい」「楽しい」の観点から、友だちの発表のいいところを発表し合うことで、自分たちの発表に自信をもたせ、やさいはっぴょう会への意欲を高めることができるようにする。

- 野菜の生長の様子や自分のしてきた世話を振り返り、野菜や野菜づくり名人及び育て上げた自分に対する気付きを深めることができるようにするために、
 - ・ 活動中には生活科ファイルがいつも活用できるように準備しておくで、これまでの○○○
○ノートやはっ見カードと比べることができるようにし、子どもたちが気付きを深めることができるようにする。
 - ・ 写真やビデオを見せながら野菜づくりを振り返ることで、野菜づくり名人や身近な人々の関わりを想起させ、気付きを深めることができるようにする。

3 単元目標

- 「やさいはっぴょう会」を通して、1年生に野菜の世話の仕方や気付いたことを伝えようとするようにする。 **【関心・意欲・態度】**
- 自分たちが育てた野菜の世話の仕方、生長の様子、野菜を育てる楽しさ、収穫の喜びなどを振り返り、表現することができる。 **【思考・表現】**
- 野菜の生長の様子や自分のしてきた世話を振り返り、野菜や野菜づくり名人及び育て上げた自分に対する気付きを深めることができる。 **【気付き】**

4 単元計画（20時間）

過程	学 習 活 動 と 内 容(配時)	手 だ て	評 価 規 準
<p>はっけんする (1時間)</p>	<p>1 今までの野菜づくりのことを振り返り、やさいはっぴょう会を設定する。【2組本時】 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手意識… 1年生 ・ 目的意識… 野菜の世話の仕方や気付いたことを伝える。 	<p>○ 世話の仕方や気付いたことを誰かに伝えたいという気持ちを高めさせるために、今までの野菜づくりを振り返り、「やさいはっぴょう会」を設定する。</p> <p>○ 1年生に伝えたいという相手意識をもたせるために、1学期の活動や1年生のときの活動を振り返ることで、1年生とともに活動したことを想起できるようにする。</p>	<p>○ 野菜の世話の仕方や気付いたことを1年生に伝えたいという意欲をもつことができる。【関】</p>
	<p>やさいはっぴょう会をしよう。</p>		
<p>こだわる・まとめる (13時間)</p>	<p>2 やさいはっぴょう会の計画を立てる。</p> <p>(1) 発表したい内容と表現したい方法を考える。 ②</p> <p>○ 発表したい野菜と伝えたい内容について考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミニトマトの世話の仕方を伝えたいな。 ・ チンゲンサイの育ち方を発表したいな。 </div> <p>○ 表現したい方法について考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな発表ができるかな。 ・ 劇や紙芝居がしたいな。 ・ 写真も使おうかな。 </div> <p>(2) グループに分かれて話し合い、グループでの表現方法を決定する。</p> <p>○ グループに分かれて、発表のポイント、話し合いの仕方について話し合う。 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすい ・ 楽しい 	<p>○ 自分が伝える内容を明確にするために、自分が発表したい野菜と伝えたい内容を書けるような○○○○ノートを準備する。</p> <p>○ 自分の表現方法を決定できるように、伝えたい内容にあった多様な表現方法を提示する。</p> <p>○ グループの活動を円滑に行うことができるようにするために、発表する野菜の種類や表現したい方法を考慮したグループングをする。</p>	<p>○ 自分が発表したい野菜と伝えたい内容を明確にすることができる。【思】</p> <p>○ 自分の表現方法を選び、決定することができる。【思】</p>

	<p>○ グループで表現方法について話し合い、グループの表現方法を決定する。</p> <p style="text-align: center;">【3組本時】①</p> <p>3 やさいはっぴょう会の準備をする。</p> <p>(1) グループで表現活動の準備をする。 ⑥</p> <p>(2) お互いの発表を見合う。</p> <p style="text-align: center;">【1組本時】①</p> <p>(3) 会場づくりや発表の練習をする。 ②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早くやさいはっぴょう会がしたいな。 ・ 1年生にわかりやすく発表するぞ。 ・ 1年生に楽しんでもらいたいな。 </div>	<p>○ どの表現方法が自分たちのグループの内容を伝えるのに適しているのかを考えることができるように、「分かりやすい」「楽しい」の観点で話し合いを行う。</p> <p>○ 自分たちの発表に自信をもたせるために、「分かりやすい」「楽しい」の観点から、友だちの発表のいいところを発表し合うようにする。</p>	<p>○ グループで「分かりやすい」「楽しい」の観点で話し合い、グループの表現方法を決定することができる。</p> <p style="text-align: right;">【思】</p> <p>○ やさいはっぴょう会への意欲を高めることができる。 【関】</p>
<p>つたえる (6時間)</p>	<p>4 やさいはっぴょう会をする。②</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなの力で成功させよう。 ・ 1年生が楽しんでくれるようにがんばろう。 </div> <p>5 やさいはっぴょう会を振り返る。</p> <p>(1) やさい発表会で楽しかったことやがんばったことを出し合う。 ①</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生がよろこんでくれてよかったな。 ・ 世話の仕方をわかってくれてうれしいな。 ・ 最後までがんばったな。 </div> <p>(2) 自分のがんばりを絵や文で表現して発表する。 ②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなやさいの育ち方がくわしくわかったね。 ・ 知らせたいことがうまくつたわってよかったな。 ・ さいごまでがんばって成功したからうれしいな。 </div> <p>6 今後の野菜づくりについて、野菜づくり名人の話を聞く。 ①</p>	<p>○ やさいはっぴょう会が円滑に行われるようにするために、1年生の反応を見ながら活動するように助言する。</p> <p>○ 自分のがんばりや発表のいいところに気付くことができるように、やさいはっぴょう会を振り返るための写真やビデオを準備する。</p> <p>○ 自分のがんばりを絵や文で表現して発表できるようにするために、○○○○ノートを準備する。</p>	<p>○ 1年生の反応を見ながら活動することができる。 【思】</p> <p>○ やさいはっぴょう会を成功させた自分のがんばりや発表のいいところに気付くことができる。 【気】</p> <p>○ 今後の野菜づくりに意欲をもつことができる。 【関】</p>

第 2 学年 O 組 本 時 指 導 案

1 本 時 (13/20)

2 本時の目標

- 友だちの発表のいいところを見つけて発表し合うことで、やさいはっぴょう会への意欲を高めることができる。 【関心・意欲・態度】

3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、やさいパーティーの達成感をもとに、これまでの自分たちの野菜づくりを振り返った。そして、やさいはっぴょう会を開いて、1年生に自分たちの野菜づくりについて伝えることを設定し、発表の準備をしてきている。まず、これまでに育てた12種類の野菜の中から、自分が伝えたい野菜を選び、その野菜づくりのどんなことをどんな方法で伝えるか考えた。次に、同じ野菜でグループをつくり、一人一人の意見を尊重しながら発表の準備に取り組んできている。グループの人数は、2年生のグループ活動としては、その発達段階として、3～4名が限度であると考え3～4名を基準とし、一人一人が違う野菜を発表する夏野菜グループが4名となっている。子どもたちのこれまでの表現方法の経験としては、カルタ・すごろく・紙芝居・クイズ・ペープサート・劇等である。また、自分の経験したことや考えたことをグループで発表することも初めてであり、グループの意見がまとまらずに活動が停滞することもあった。しかし、あきらめずにそれぞれに自分たちで工夫し、取り組んできている。

本時はこれまでがんばってきたことを1年生に伝える前にお互いの発表を見合い、自信をもってやさいはっぴょう会ができるようにすることをねらいとしている。

まず、伝える相手が1年生であるという相手意識から、「分かりやすい」「楽しい」という観点のもとにお互いの発表のいいところを見つけるようにしたい。そして、全体でいいところを発表することで、自分の表現に自信をもたせるとともに、やさいはっぴょう会への意欲を高めていくことができるようにする。

そこで本時の学習づくりにあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 聞く側の子どもが発表を集中して話を聞けるように、声が聞き取りやすいワークショップでのグループの配置を工夫する。
- イ 友だちの発表のいいところを見つけることができるように、発表を見る観点を明確にし、「分かりやすい」「楽しい」という発表のポイントを学習の始めに確認する。
- ウ 全体で発表しやすくなるように、友だちの発表のいいところを観点別に分けて書くようにした〇〇〇〇ノートを準備する。
- エ 自分のがんばりや発表のいいところに気付かせ、自信をもって次時の活動に取り組めるように、〇〇〇〇ノートに本時の振り返りを書いて発表する活動を行う。
- オ 次時の見通しをもたせ、「やさいはっぴょう会」への意欲を喚起するために「やさいはっぴょう会」の会場づくりや練習をすることを伝える。

4 準 備

【教師】 発表のポイント、〇〇〇〇ノート

【児童】 発表資料、生活科ファイル

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
1 本時のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 友だちのはっぴょうを見て、いいところを見つけよう。 </div>	
<p>2 発表のポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすい ・ 楽しい <p>3 お互いの発表を見合う。</p> <p>(1) 前半のグループが発表をする。</p> <p>(2) 発表のいいところを見つけて、〇〇〇〇ノートに書く。</p> <p>(3) 後半のグループが発表をする。</p> <p>(4) 発表のいいところを見つけて、〇〇〇〇ノートに書く。</p> <p>4 友だちの発表のいいところを全体で発表し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チンゲンサイグループは、劇のような説明の仕方をしていたので、一年生が楽しく見ることができる。 ・ ミズナグループは、ミズナの大きくなる様子を少しずつ形を変えて表していたので、大きくなる様子が良く分かる。 ・ カブグループは、カブがやっとな芽を出して、大きくなった喜びの気持ちを入れていたので、分かりやすくてよかった。 </div> <p>5 〇〇〇〇ノートに本時の振り返りを書き、発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">期待される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙芝居がよかったと言われて、嬉しいな。 ・ 早く1年生に伝えたいな。 ・ やさいはっぴょう会が楽しみだな。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちの発表のいいところを見つけることができるようにするために、発表のポイントに沿って発表を聞くよう助言する。 ○ 聞く側の子が発表の声を聞き取りやすいようにするために、ワークショップでのグループが分散するように配置する。 ○ 友だちの発表のいいところを観点別に書き全体で発表することができるようにするために、〇〇〇〇ノートを準備する。 ○ 他のグループの発表のいいところにも気付くことができるようにするために、「分かりやすい」「楽しい」という観点別に板書するとともに、価値付け、意味付けをする。 ○ 自分のがんばりや発表のいいところに気付かせるために、〇〇〇〇ノートに本時の振り返りを書いて発表することで、自信をもってやさいはっぴょう会に臨めるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>評価規準</p> <p>発表のいいところを伝え合うことで自分の発表に自信をもち、やさいはっぴょう会への意欲を高めることができる。</p> </div>
6 次時の活動を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やさいはっぴょう会」への意欲を高めていくために、「やさいはっぴょう会」の会場づくりや発表の練習をすることを伝える。

第 2 学年 O 組 本 時 指 導 案

1 本 時 (1/20)

2 本時の目標

- 自分たちの野菜づくりを振り返り、世話の仕方や気付いたことを1年生に伝えたいという意欲をもつことができる。 【関心・意欲・態度】

3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、前单元「あきまきやさいをそだてよう」の学習で、みんなでやさいパーティーを開くために秋まき野菜づくりに取り組んだ。そして、学校園で育てたサツマイモや自分の鉢で育てた秋まき野菜を使ってやさいパーティーを開いた。子どもたちは、「野菜がおいしかった」「パーティーは楽しかった」という感想をもつことができている。その理由として、自分ががんばって世話をしたことや「野菜が生長してくれたから」「野菜づくり名人に野菜づくりのことを教えてもらったから」と感謝の気持ちをはっ見カードに書いている。また、日々の野菜の観察から、友だちの野菜と比べて野菜によって生長の仕方が違うことや、夏野菜と秋まき野菜を比べて野菜によって食べる場所が違うことなどの気付きを、はっ見カードに書いている。

本時は、野菜づくりに対する自分たちのがんばりや野菜を観察して見つけたことなど気付きを1年生にも伝えたいという意欲をもつことができるようにすることをねらいとしている。

まず、やさいパーティーの感想を出し合い、やさいパーティーの満足感を振り返らせる。次に、野菜の世話の仕方、野菜の生長の様子、野菜は命をもっていること、野菜づくり名人への感謝の気持ちなどを交流しあうことにより、自分たちのがんばりや気付きを振り返らせる。そして、1年生の時に招待された野菜発表会を想起させ、野菜のことが分かってうれしかったことや楽しかったこと、教えてもらったことが自分たちの野菜づくりのきっかけになっていたことから、1年生にも伝えたいという意欲をもたせたい。

そこで本時の学習づくりにあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 自分たちが野菜をおいしく育てたことを想起できるように、やさいパーティーの様子の写真を提示する。
- イ これまでの野菜づくりのことを振り返り、世話の仕方や気付きが想起できるように、今までの野菜を育てている様子の写真を掲示したり、育てた野菜の実物を提示したりする。
- ウ 子どもたちがやさいはっぴょう会で伝えることを明確にもつことができるように、世話の仕方と気付きを整理して板書する。
- エ 野菜づくりのことを教えてもらったときの喜びや楽しさ、自分たちも野菜づくりに挑戦したいという気持ちをもったことを想起させ、1年生に教えたいという意欲をもつことができるように、1年生の時に招待された野菜発表会の感想を紹介する
- オ 次時への活動の意欲をもてるように、やさいはっぴょう会の目的意識・相手意識を明確にし、〇〇〇〇ノートで本時の振り返りの活動を設定する。

4 準 備

【教師】 やさいパーティーの写真、育てている野菜の写真、今まで育てた野菜の写真
今育てている鉢植え野菜、野菜づくりで使用した道具等

【児童】 はっ見カード（やさいパーティーの感想）、生活科ファイル、〇〇〇〇ノート

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 写真を見て、やさいパーティーを振り返る。</p> <p style="text-align: center;">予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やさいパーティーが楽しかった。 ・ 自分の育てた野菜がおいしかった。 ・ 野菜のお世話をがんばってよかった。 ・ おいしく育ったのは、やさいづくり名人さんが教えてくれたからだね。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 自分たちが野菜づくりをがんばったということや野菜名人のおかげだということに気付くことができるように、やさいパーティーの写真を提示する。</p>
<p>今までのやさいづくりのことをふりかえろう。</p>	
<p>3 野菜づくりを振り返って発表する。</p> <p style="text-align: center;">予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水やりの仕方を工夫したよ。 ・ 土作りをしたね。 ・ 大きく育てるために、まびきをしたよ。 ・ 草取りや虫退治もしたね。 ・ 野菜も命があるんだね。 ・ 野菜によって葉の形がちがうよ。 ・ 花の色がちがって、びっくりしたよ。 ・ 実がなる野菜と、実がならない野菜があるんだね。 <p>4 1年生の時に招待された野菜発表会のことを振り返る。</p> <p style="text-align: center;">予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜づくりのことを楽しく紹介してくれたよね。 ・ 野菜のことがたくさんわかったよね。 ・ 2年生に教えてもらって、野菜づくりがしたいなって思ったよ。 <p style="text-align: center;">期待される考え</p> <p>1年生にやさいづくりのことを知らせるために、やさいはっぴょう会をしよう。</p>	<p>○ 世話の仕方やなぜそのような世話をしたのか理由を表現できるようにするために、動作化をさせたり、発言をつないだりする。</p> <p>○ これまでの野菜づくりのことを振り返ることができるようにするために、今まで育ててきた野菜の写真を掲示したり、野菜の実物を見せたりする。</p> <p>○ 世話する中で見つけたことや気付きを振り返ることができるようにするために、生活科ファイルを活用するよう助言する。</p> <p>○ やさいはっぴょう会で伝えることを明確にするために、出てきた意見を板書で整理する。</p> <p>○ やさいはっぴょう会で1年生に伝えたいという意欲をもつことができるようにするために、招待されたときに書いた感想を準備する。</p>
<p>5 本時を振り返り、○○○○ノートを書く。</p> <p>6 次時の活動を確認する。</p>	<p style="text-align: center;">評価規準</p> <p>野菜づくりで世話したことや、気付いたことを発表し、1年生に伝えたいという意欲をもつことができる。</p> <p>○ 次時への活動の見通しをもつことができるようにするために、○○○○ノートを準備する。</p>

第 2 学年 ○ 組 本 時 指 導 案

1 本 時 (5/20)

2 本時の目標

- グループで話し合い、やさいはっぴょう会の表現方法を決定することができる。【思考・表現】

3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、野菜づくりを振り返った感想を交流している。野菜の生長の様子、世話の仕方、野菜は命をもっていること、野菜づくり名人への感謝の気持ちなど、今までの野菜づくりのことにについて振り返り、自分たちのがんばりや野菜づくりのこと、野菜を観察して発見したことなど、気付いたことを1年生に伝えたいという意欲をもつことができている。そこで、やさいはっぴょう会で、自分が伝えたい内容と表現方法を、〇〇〇〇ノートに書いている。また、野菜の種類別にグループをつくり、やさいはっぴょう会での発表のポイント「分かりやすい」「楽しい」について話し合ってきている。

本時は、野菜の種類別グループで、やさいはっぴょう会の表現方法について話し合い、グループの表現方法を決定することをねらいとしている。

まず、やさいはっぴょう会では、1年生に「分かりやすい」「楽しい」という観点で発表することを確認する。次に、どんな方法で発表するのかという表現方法についてグループで話し合う。その際イーゼルやマイクなどの具体物を使って説明しながら、グループの表現方法を決定する。そして、決定した表現方法を発表する。最後に本時の振り返りを〇〇〇〇ノートに書く。

そこで本時の学習づくりにあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 1年生に「分かりやすい」「楽しい」という話し合いの観点を確認できるようにするために、発表のポイントを提示する。
- イ 見通しをもった話し合いができるように、話し合いの進め方を捉えるための話し合いの仕方を提示する。
- ウ やさいはっぴょう会をイメージし、表現方法を決定できるように、画用紙やイーゼルやマイクなどの具体物を用意する。
- エ 話し合いの停滞しているグループが表現方法を決定できるように、「分かりやすい」「楽しい」の観点から、それぞれの表現方法の特徴をアドバイスする。
- オ グループで決定した表現方法を明確にし、意欲をもってやさいはっぴょう会の準備に取り組めるように、〇〇〇〇ノートに本時の振り返りを書く活動を設定する。

4 準 備

- 【教師】 表現方法の例、今までの学習で使った表現物、具体物（画用紙・イーゼル・マイクなど）
野菜や野菜の世話をしている時の写真
- 【児童】 生活科ファイル、〇〇〇〇ノート

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 前時を想起し、めあてを確認する。</p> <p>(1) 発表のポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすい ・ 楽しい <p>(2) めあてを確認する。</p>	<p>○ 話し合いの観点を確認できるように、発表のポイントを提示する。</p>
<p>どんな方ほうではっぴょうするのかをグループで話し合っ、はっぴょうのしかたをきめよう。</p>	
<p>2 グループで話し合いをする。</p> <p>(1) 話し合いの仕方を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発表する方法を言う。 道具を使って説明する。 ② 発表のポイントを考えながら、意見を出し合う。 ③ 伝え方を決める。 <p>(2) 話し合いをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チンゲンサイの育ち方が分かるのは、紙芝居がいいと思うよ。 ・ ミズナのお世話の仕方をニュースショーで説明したら楽しいね。 </div>	<p>○ 見通しをもった話し合いができるように、話し合いの仕方を提示する。</p> <p>○ 発表会のイメージを広げ表現方法を決定できるように、イーゼルやマイクなどの具体物を準備する。</p> <p>○ 表現方法が一本化できずに、話し合いが停滞しているグループには、複数の表現方法も取り入れてよいことを助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>評価規準</p> <p>「分かりやすい」「楽しい」の観点で話し合い、グループの表現方法を決定することができる。</p> </div>
<p>3 話し合ったことをグループごとに発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">期待される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チンゲンサイの育ち方は、紙芝居よりパネルシアターの方が分かりやすいね。 ・ ミズナのお世話の仕方は、ニュースショーに劇も入れたらもっと楽しいよ。 </div>	<p>○ 自分たちの決定した表現方法に自信をもつことができるように、「分かりやすい」、「楽しい」の観点から賞賛する。</p>
<p>4 本時を振り返り、〇〇〇〇ノートを書く。</p>	<p>○ 決定した表現方法を明確にするために、本時の振り返りを〇〇〇〇ノートに書く。</p>
<p>5 次時の活動を確認する。</p>	<p>○ 次時への学習の見通しをもつことができるように、やさいはっぴょう会の準備を始めることを伝える。</p>